Waca.P

和歌山県文化情報誌
ワカピー

Vol.121

特集～未来を拓く 文化の息吹 …… 2・3
イベントスケジュール …… 4・5
和歌山県文化表彰受賞者 …… 6
感動発見！ 文化の「扉」 …… 7
ピックアップインフォメーション …… 8

今年の和歌山県新人演奏会合格者
11月15日　第54回本演奏会 出演

未来を拓く

山青し 海青し 文化は輝く

きのくに文化月間

令和8年11月1日㈰～11月30日㈰

国民文化祭の気運を受け継ぐ

今から5年前、盛大に開かれた「紀の国わかやま文化祭2021（国民文化祭）」。毎年11月の「きのくに文化月間」は、同文化祭で高まった“文化振興の気運”をさらに盛り上げ、障害の有無にかかわらず誰もが文化芸術活動へ参加し、次世代を担う青少年にも文化への関心を深めてもらおうと始まりました。期間中は、美術や音楽、演劇、伝統芸能など、和歌山県内の多彩な催しを紹介。この機会にぜひ、各地へ足を運び、和歌山の豊かな文化芸術にふれてみませんか。

踊りで繋ぐ2日間

きのくに文化月間には、今年も県内各地でさまざまな連携事業が盛りだくさん。このうち紀州お祭りプロジェクト（杉谷和昭実行委員長）は10月31日（土）、11月1日（日）の2日間、和歌山城とけやき大通りを舞台に「おどるんや～第22回紀州よさこい祭り～」を開催します。

プロジェクトがスタートしたのは2002年。活力ある和歌山のまちづくり、人づくりを実現しようと、全国に広まりつつあった「よさこい祭り」に着目しました。「最初は勢いだけで、これほど長く続くとは思っていませんでした。でも、この祭りがある和歌山と、無い和歌山とでは、きっと違っていたと思います」と杉谷さん。ピーク時には85チームが参加する盛り上がりを見せました。

フィナーレは総踊りで心一つに

第1回から変わらない理念は「参加・交流・感動」。参加の形は踊ることだけではありません。沿道で観る、声援を送る、協賛するほか、給水や清掃などのボランティアとして支えることも立派な「参加」。ステージの最後には、チームに所属していなくても加われる「総踊り」も行われ、3歳から85歳までの幅広い踊り手が立場や世代を超えて交流します。

次世代へバトン

今年は「踊れ　煌めけ　紀州の魂」をテーマに約50チームが参加予定。振り付けや衣装、音楽にはチームごとの自由なアレンジが施され、それぞれの個性あふれる演舞が繰り広げられます。最近では小中学校にも学校公認のよさこいチームが誕生し、祭りの輪は次世代へ。また会場には「旬店街グルメブース」が並び、今年初の試みとして、こどもたちが司会や音響など祭りを支える仕事に挑戦する「おどるんやDEおしごとたいけん！」を開催します。

実行委員会は、前年の終了直後から準備を進めてきました。「観る、応援する、参加する。それぞれの形で一緒に感動できるのが、この祭りの魅力です。ここまで続けてきた中で、和歌山の文化の一つになっていればうれしいですね。今年も和歌山がキラキラと輝くような2日間にしたいです」と杉谷さん。踊り手と観客、支える人が一つになり、和歌山を熱く盛り上げます。

裏方で支える実行委員

今年度の連携事業のパンフレットは、こちらからダウンロードできます▶

文化の息吹

創作意欲を高める「県展」「ジュニア県展」

「県展」の名で広く親しまれている「県美術展覧会」。昭和22年から実施されている県内最大の公募展で、入選・入賞作品は県立近代美術館での展示に加え、橋本、上富田、新宮の3カ所で地方展として、入賞作品と各地域の入選作品が展示されます。一方、こどもたちの美術力向上を支援しようと、平成27年に始まった「県ジュニア美術展覧会」も今年で12年目。和歌山の文化を支える両展を紹介します。

県展会場

個性・感性が作品に

今年80回の節目を迎える県内最大の公募展「県展」は、審査・選考を通じて優れた作品を広く県民に紹介し、創作意欲の向上と芸術文化の振興を図る県主催の展覧会です。高校生以上を対象に、洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道の7部門で作品を募集し、各分野の専門家が審査。美術家への登竜門としても知られることから力試しに応募する人も多く、会場にはそれぞれの個性や世界観を映した作品が並びます。

出展の意義の一つは、自身の作品を専門家に評価してもらえる点です。積み重ねてきた技術や表現力が客観的に示され、長所や課題に気づくことで、次の創作へ向かう手がかりをつかめます。審査結果は順位を競うだけでなく、表現をさらに磨き、芸術性を高めるきっかけにもなります。

一方、小中学生を対象とする「ジュニア県展」は、絵画、書、立体の3部門で実施。こどもたちのひらめきや伝えたい思いを、自由な発想で形にした作品が集まります。審査は作品そのものが唯一の判断材料となるため、作者が何を表現したいのかという意図が重要です。「作りたい」という意欲や主体性がいきいきと伝わる表現、こどもならではの創意工夫が毎年の見どころとなっています。

昨年から書部門の規格を変更し、縦書き、横書きが不問となりました。文字の配置や余白をより自由に構成できるようになり、こどもたちの感性がより一層輝く作品の誕生に期待が高まります。

…　…　…　…　…

県展、ジュニア県展は右記のスケジュールで開かれます。いずれも和歌山の文化の息吹を感じる力作ぞろい。ぜひ足を運んでみてください。

ジュニア県展会場風景

県　展

ジュニア県展

地方展

県展　ジュニア県展

●**橋本展**
11月20日(金)～11月24日(火)
10:00～17:00
和歌山県立橋本体育館

●**上富田展**
11月27日(金)～12月2日(水)
9:00～17:00
※11月30日(月)は休館日
上富田文化会館

●**新宮展**
12月16日(水)～12月20日(日)
10:00～17:00
丹鶴ホール

本展

県展

●**洋画・工芸・彫塑**
1月28日(木)～2月2日(火)
9:30～17:00
※2月1日(月)は休館日
和歌山県立近代美術館

●**日本画・書・写真**
2月6日(土)～2月11日(木・祝)
9:30～17:00
※2月8日(月)は休館日
和歌山県立近代美術館

●**華道・招待作家部門**
1月27日(水)～1月31日(日)
9:30～17:00
和歌山県民文化会館

ジュニア県展

●1月20日(水)～1月24日(日)
9:30～17:00
和歌山県立近代美術館

主催
●和歌山県
●(一財)和歌山県文化振興財団

文化振興事業　イベントスケジュール

申込み・問合せ

10月 ダンスワークショップ2026 ブレイキン体験 in 橋本

10月31日(土)　13:30～15:30　**<参加者募集>**

和歌山県立橋本体育館 サブアリーナ(橋本市北馬場455)
世界最高峰のブレイクダンスチーム「MORTAL COMBAT」指導
講師:MACCHAN、Ruivo
小・中学生無料　高校生～大人500円　定員80名

11月 第54回 和歌山県新人演奏会［オーディション合格者による輝きのステージ］

11月15日(日)　開演13:30(開場13:00)　和歌山城ホール 大ホール　1,000円　高校生以下無料　※全席自由(未就学児入場不可)

［作曲(木管五重奏)］
①髙山美夢

［声楽(ソプラノ)］
②玉置紗也乃

［ピアノ］
③岩井朝陽

［声楽(ソプラノ)］
④井上未結

［フルート］
⑤榎本咲穂

［アルトサクソフォン］
⑥森田茉桜

［ピアノ］
⑦柿本瑞歩

［フルート］
⑧中村心春

［ユーフォニアム］
⑨長崎陽礼

［声楽(ソプラノ)］
⑩赤城史穂

［アンサンブル(フルート2重奏)］
⑪要枝三里

⑪辻井義祐

選考オーディションに合格した若き演奏家たちの夢の舞台。
みなさんの応援をお待ちしています!

(①～⑪出演順)

11月 令和8年度優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマシアター」［好評発売中］

11月27日(金)　上映10:30～(開場10:00)

和歌山県民文化会館 大ホール
上映作品「毎日が夏休み」「風の又三郎ガラスのマント」
前売400円(当日450円)　※全席自由(未就学児入場不可)

「毎日が夏休み」

「風の又三郎ガラスのマント」

12月 クリスマス／アヴェ・マリア エリザベート弦楽アンサンブル

J.S.バッハ、シューベルト、カッチーニ:アヴェ・マリア(ソプラノ)
J.S.バッハ:G線上のアリア、ヴィヴァルディ:「四季」より"冬"　他

12月7日(月)　開演14:00(開場13:20)

和歌山県民文化会館 大ホール
4,900円　※全席指定(未就学児入場不可)　［好評発売中］

12月 劇団四季ミュージカル『コーラスライン』［好評発売中］

悔やまない　好きだからこそ　すべてを捨てて生きた日々に悔いはない
永遠のミュージカル『コーラスライン』の幕が開きます。

12月17日(木)　開演18:30(開場17:45)

和歌山県民文化会館 大ホール
S席 11,000円　A席 9,000円　B席 6,000円　※全席指定(未就学児入場不可)

撮影:阿部章仁

令和9年1月 チャイコフスキー・バレエ劇場「白鳥の湖」(全2幕4場)

150年にわたり人々を魅了し続けるクラシックバレエの最高傑作!

令和9年1月9日(土)　開演15:00(開場14:15)

和歌山県民文化会館 大ホール
S席 11,000円　A席 8,000円　B席 6,000円　※全席指定(未就学児入場不可)　［好評発売中］

和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

ホームページ　X（旧 Twitter）　Instagram

令和9年1月

「おとうさんといっしょ」レオてつコンサート

令和9年1月16日(土)　開演①11:00(開場10:00)　②14:00(開場13:00)
和歌山県民文化会館 大ホール
3,500円　※全席指定（1歳以上有料。1歳未満のお子様は、保護者1名につき1名までひざ上無料）
●けんぶん友の会優先電話予約／10月14日(水)10:00～
● 一般販売／10月24日(土)10:00～

©NHK

令和9年1月

笑福亭仁智落語会

令和9年1月22日(金)　開演18:30(開場18:00)
和歌山県民文化会館 小ホール
3,000円　※全席指定（未就学児入場不可）
●けんぶん友の会優先電話予約／10月19日(月)10:00～
● 一般販売／10月26日(月)10:00～

笑福亭仁智

令和9年1月

長谷川義史 絵本ライブ in 有田　[無料]

『おへそのあな』『いいからいいから』などで大人気の絵本作家!
令和9年1月24日(日)　開演13:30(開場12:45)
有田市民会館 紀文ホール（有田市箕島46）
●整理券配布／11月14日(土)10:00～（有田市民会館／県文）

長谷川義史

令和9年1月

元「劇団四季」俳優による「はじめてのミュージカル」体験

令和9年1月31日(日)13:00～15:00　**参加無料**　**<参加者募集>**
有田市民会館 紀文ホール（有田市箕島46）
講師：末谷満（元劇団四季俳優）・山本靖子（元劇団四季俳優）・カンパニーメンバー
●ハガキで参加受付中[11月30日(月)必着]（応募者多数の場合は抽選）
定員40名　※小学生から30歳まで

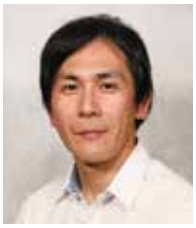
末谷満

山本靖子

令和9年2月

発表活動の応援講座　レベルUPを目指そう！<参加者募集>

俳優で演出家の高杉征司氏による発表活動やワークショップに活かせる演劇を使った講座！
令和9年2月11日(木・祝)13:30～15:30　**参加無料**
和歌山県民文化会館 6階特別会議室B
講師：高杉征司（演出家・劇作家・俳優）
●電話受付／12月10日(木)10:00～（先着順）
定員20名　※高校生以上　（見学可）


高杉征司

令和9年2月

クラシックの集い ～兵庫芸術文化センター管弦楽団元メンバーによる～

世界的指揮者の佐渡裕が芸術監督を務める専属オーケストラの元メンバーが本州最南端の地・串本で、心安らぐクラシックの音色を奏でます。
令和9年2月21日(日)　開演13:30(開場13:00)
串本町文化センター 大ホール（串本町串本2427）　500円（高校生以下無料）
● 一般販売／11月18日(水)10:00～

令和9年3月

日本文化 体験教室 in 御坊<講師募集>

令和9年3月20日(土)　9:00～16:00（準備と片付けを含む）
御坊市立体育館（御坊市薗350番地2）

募集期間
[11月15日(日)まで]

【募集内容】
●落語・日本舞踊・短歌・三味線・書・和楽器などの体験企画　※鑑賞のみの企画は対象外
●室料、イベント保険以外の経費は自己（講師）負担
●1教室10,000円（源泉所得税含む）支給
●応募用紙にて応募（選定結果は文書で通知）

令和7年度
和歌山県
文化功労賞

紀伊古代史の謎に挑む

日本史学者　栄原 永遠男さん
（さかえはら とわお）

1946年東京都出身。74年京都大学大学院文学研究科を単位取得退学。京都大学博士（文学）。飛鳥時代から奈良時代を中心とした日本古代史が専門。「正倉院文書」や東大寺などの研究で知られる。大阪市立大学（当時）で教鞭をとる傍ら、75年より「和歌山県史」編纂事業に携わる。退職後は東大寺史研究所所長や大阪歴史博物館館長などを歴任。

小さい頃から日本史に魅せられ、高校時代には歴史学や国文学への関心を深めてきました。その知的好奇心を追求するため、京都大学文学部史学科に進学。日本史学者の岸俊男先生との出会いを機に、古代史研究へと舵を切りました。

同大学大学院を経て教壇に立つ傍ら、『和歌山県史』の編纂事業に参加。通史編「原始・古代」では、飛鳥時代から平安時代にわたる紀伊国の政治や経済の動向について執筆しました。

「編纂委員会への出席時に初めて和歌山市を訪れた際、『ここが大豪族・紀氏の地か！』と感激したものです。泊りがけで先生方と白浜・道成寺・紀の川筋を巡った調査は忘れえぬ思い出です」

モットーは「しない後悔より、した後悔」。「小さなテーマも掘り下げれば大意に通じる」という岸氏の教えを守り、粘り強く探求を重ねます。

今後は朝鮮半島へ進出した初期紀氏集団の実態解明に加え、南紀地方や平安時代の紀伊史研究という未着手の領域に挑みます。

2004年に研究の集大成となる『紀伊古代史研究』を刊行。独自の見解を導けずにいたなか、紀伊出身の学者一族・滋野氏が古代紀伊の学問や官人を知る重要な存在だと気づいたことが、執筆の突破口となりました。

和歌山県文化表彰受賞者

和歌山県文化表彰とは、文化の向上・発展に
特に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

令和7年度
和歌山県
文化功労賞

自然観察の魅力を未来へ繋ぐ

植物生態学者　髙須 英樹さん
（たかす ひでき）

1949年東京都日野市出身。72年富山大学文理学部生物学科を卒業後、京都大学大学院理学研究科へ進学。76年博士課程を中途退学後、大学教員としてキャリアを重ねる。90年から和歌山大学教育学部助教授、2011年からは教授として教鞭に立つ。植物生態学を専門に『和歌山県レッドデータブック』の作成に注力。14年度から21年度まで県立自然博物館館長を務める。

父親が生物学の研究者だったことで、幼少期より自然を身近に感じる環境で育ちました。富山大学２年生時に植物分類学・生態学者の河野昭一博士と出会い、植物の生活史から分類や多様性を捉える手法に影響を受けました。

京都大学大学院理学研究科博士課程２年目で和歌山大学へ赴任。文献や標本が少ない環境下で、友ヶ島に自生するサトイモ科の「ウラシマソウ」などを対象に、植物の性表現や繁殖メカニズムの研究を開始。栄養状態や成長段階によって雄から雌へと性転換する動態を解明し、学位を取得しました。

県の植物の分布や生態に詳しく、『和歌山県レッドデータブック』の作成と改訂に従事。２０１２年および２０２２年改訂版では座長を務め、専門外の領域も含めた全般にわたり内容校閲・データ精査などで作業を牽引しました。

現在は和歌山大学で研究を継続。「成果が出るまで年月を要するフィールドワークこそ重要」という信念のもと、粘り強い観察の意義を後進に説きます。

「自然の面白さを体験した学生が、その魅力を次世代のこどもたちへと語り継げるようになることを願っています」

研究と並行して、これまで採集・作製してきた約5万点もの植物標本の整理とデータ化に苦慮する毎日。年に数回、各所で開催する自然観察会では、地域の人びとに自然の素晴らしさを伝えています。

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介。
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

落　語

わかやま楽落会（らくらく）

笑いで和歌山を盛り上げたい

「外出が難しい人にも楽しみを届けたい」という思いから生まれた「わかやま楽落会」。数ある表現手段の中で落語に着目したのは、特別な道具や場所がなくても上演できるからでした。大学の落語研究会出身である栗本哲志会長やプロの落語家の指導を受け、今では6歳から75歳まで約30人が所属し、施設やイベントなど年間約50席の出張寄席を開催。「1人のためにでも行く」をモットーに、山間部や個人宅へも出向き、交通費のみの原則無料で上演を続けています。

最近では小中学生も腕を上げ、全国大会で入賞するほどに成長しました。事務局の池田信義さんは「落語は想像力を楽しむ世界。最初はうまくできずに泣いていた子も、大きな可能性を秘めています。笑いいっぱいのこどもたちの落語で、和歌山を盛り上げていきたい」と意気込んでいます。

わかやま楽落会 Profile

落語を中心に笑いの文化の研究・発表・交流活動をすすめるボランティア団体として2008年に結成。県内外での公演活動の傍ら、こども落語ワークショップを行い、次世代の育成にも注力。会員にはこども落語の全国大会優勝者、出身者にはプロの講談師もいる。

活動は奇数月第2土曜、和歌山市西高松の県立図書館で。会員随時募集中

人気のこども落語も上演

第26回 旧中筋家寄席

10月17日（土）13:30、和歌山市禰宜の旧中筋家住宅。落語や寄席芸などをライブで届ける。公演は無料だが、入場料100円必要。定員先着25人（申し込み不要）。㊐わかやま楽落会山本さん☎090-9864-1344。

ダンス

アーツクラシックバレエ

伝統に新しい風 吹き込む

バレエの魅力は、鍛えた身体一つで表現する美しさ。伝統的な振り付けに沿って美しいラインを描くには、アスリートに匹敵する身体づくりが不可欠です。主宰する井上育子さんは自身の経験をもとに、基礎技術を重点的に指導。こどもにはどのような舞台でも通用する表現力を、大人には踊る楽しさと基本を丁寧に。開校10年を経て振り返ると、教え子たちはダンスを仕事や趣味にし、生き生きと活躍しています。

舞台では、師の中沼洋子さんから受け継いだ「和のバレエ」にも挑み、着物や和太鼓を取り入れた作品を生み出してきました。「バレエは伝統芸能。中沼先生が築いた歴史を正しく守りながら新しい風を吹き込み、特別な時間と空間を作ることで、バレエを知らない人にもその素晴らしさを感じてもらいたい」と、和歌山のバレエ文化の継承に情熱を注いでいます。

アーツクラシックバレエ主宰 井上育子さん Profile

和歌山市出身。6歳から中沼洋子・利花両氏に師事し、数々の公演で主役を務める。2014年に教室を開校し、キッズ・ジュニアクラスからマダムバレエまで幅広い世代を指導。1983年、84年度全日本バレエコンクール上位入賞。25年Wind Balletコンクール優秀指導者賞。

表現者・指導者として活躍する井上さん

和のイメージを取り入れた舞台

アーツクラシックバレエ発表会

12月13日（日）、県民文化会館で発表会。学生クラスの伝統的な舞台に加え、和の演出を施した創作バレエ『竹取物語』、初の大人クラスの発表と、バラエティに富んだプログラムです。入場無料。㊐井上さん☎090-4073-2808。

県文会議室

文化教室や会議、面接、勉強会で大人気!!
午前、午後、夜間いつでも
1,000円
サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室
みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下
1週間利用で 約4万円【1日約5,700円】
※県内文化団体に限る（上記は特設展示室の例）

P 約500台収容の駐車場あり／40分100円／24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園＜万葉館＞

「歌の聖地 玉津島展 ～魂に響く 万葉の世界」
10月16日(金)～11月15日(日)

和歌山県在住の写真家、大上敬史さんが、『日本遺産"和歌の浦"』などを撮影した写真約50点を展示。万葉の時代から人々の心をとらえ、歌にも詠まれた美しい自然の情景を見つめます。

大上敬史さん「観海閣を飛ぶアオサギ」

和歌山市和歌浦南3丁目1700　☎073-446-5553　開9:00～17:00(入館16:30まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)　¥入館無料

和歌山県立博物館

企画展「くらひらく―博物館の蔵仕事事例集―」
10月10日(土)～12月6日(日)

人々はむかしから大切なものを蔵におさめてきました。現在進行中の高野山大学との共同研究、高野山北室院文化財調査を中心に、くらをひらく現場を紹介します。

高野山北室院文化財調査風景

企画展「海南の古刹 願成寺」
12月19日(土)～2027年2月14日(日)

海南市別所の願成寺は、平安時代に湛慶上人が待賢門院の冥福を祈るために建てた寺院です。残された古文書などから歴史を紐解きます。

※9月24日(木)～10月9日(金)は展示替えのため休館

和歌山市吹上1-4-14　☎073-436-8670　開9:30～17:00(入館16:30まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)　¥一般310円(250円)、大学生190円(150円)　※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立紀伊風土記の丘

和歌山巡回展示「あなたの街に! 風土記の丘」
10月1日(木)～10月14日(水) ■会場:和歌山県立図書館　■費用:無料

資料館休館中、県内の施設を巡回し、考古資料・民俗資料や、紀伊風土記の丘新館PRのパネル等を展示。第1回目は県立図書館からお届けします。

昭和100年関連施策「パネルでたどる紀伊風土記の丘のあゆみ」
10月3日(土)～11月29日(日)

大正時代から昭和40年代の古墳群の調査の歴史や、昭和46年に紀伊風土記の丘が開館して以降の活動を写真パネルからたどります。

完成時の松下記念資料館(昭和46年)

■会場:和歌山県立紀伊風土記の丘園内移築民家「旧柳川家住宅」「旧谷村家住宅」　■費用:無料

和歌山市岩橋1411　☎073-471-6123　開 9:00～16:30(民家見学は16:15まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)　※資料館は新館建設のため令和10年度上期頃まで休館中。園内は資料館および一部工事エリアを除き、引き続きご利用いただけます

和歌山県立近代美術館

「鈴木崇 もののをかし」
10月14日(水)～
2027年2月11日(木・祝)

写真というメディアを介して、視覚と知覚の関係性や認識の変化に注目し、作品を展開する鈴木崇(1971年～)の眼差しを手がかりに、当館コレクションを新たな視点から見直します。

鈴木崇《lumière géométrique 8212》2025年　作家蔵

和歌山市吹上1-4-14　☎073-436-8690　開9:30～17:00(入館16:30まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)　¥一般600円(480円)、大学生330円(290円)　※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

体験教室「チリメンモンスターイン和歌山」
11月8日(日)13:30～15:30

ちりめんじゃこに混じる様々な「海の生き物の赤ちゃん」を観察し、海の食物連鎖と生態系を学びます。

■対象:小学生以上一般(小学生は保護者同伴)
■費用:入館料+材料費一人100円程度
■定員:30名
■申込方法:往復はがきに、行事名、参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し郵送。10月18日締切(応募多数の場合抽選)

海南市船尾370-1　☎073-483-1777　開9:30～17:00(入館16:30まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)　¥一般480円(350円)　※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

稲むらの火の館

濱口梧陵の偉業を伝える

1854年安政南海地震の津波から多くの村人を救った濱口梧陵。「稲むらの火の館」は、彼の生い立ちから晩年までの足跡をたどる「濱口梧陵記念館」と、津波の恐ろしさや防災の知恵を学ぶ「津波防災教育センター」からなる施設です。各種展示、ゲーム形式の防災体験、実験水槽の津波シミュレーション、津波の威力を体感できる3Dシアターなどがあります。

濱口梧陵記念館

津波防災教育センター

有田郡広川町広671　☎0737-64-1760　開10:00～17:00(入館16:00まで)　休月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/4)　※11月5日世界津波の日は開館　¥一般500円(20名以上の団体割引あり)、高校生200円、小中学生100円　※学校教育活動の小中学生は半額。障害者と介護者1名は半額。6月15日(生誕の日)と11月5日(世界津波の日)は入館無料

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

☆入会金・年会費「無料」
☆主催公演チケットの優先予約
☆文化情報の発送(年4回)

その他特典も！詳しくはお問い合わせください。

大規模改修工事期間が変更になり
令和10(2028)年 3月31日まで通常営業中

問合せ　和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

※本冊子掲載の情報は令和8年9月7日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

表紙のひと

第54回 和歌山県新人演奏会 出演の皆さん(オーディション合格者)

1973年に若手音楽家の登竜門として始まり、昨年までに877人の優れた才能を発掘し、演奏会を通じて広く紹介。半世紀以上にわたる歴史と伝統を兼ね備え、和歌山県の音楽文化の振興、向上に大きく貢献してきました。54回目を迎える今年の演奏会には、8月のオーディションで選ばれた作曲、声楽、ピアノ、フルート、アルトサクソフォン、ユーフォニアムの演奏家11組12人が出演。11月15日(日)、和歌山城ホールで一堂に会し、これまで磨いてきた腕前を存分に披露し、フレッシュな音色を響かせます。

和歌山県文化情報誌 ワカピー　Wakayama Culture and Arts Power

発行／和歌山県
編集・問い合わせ／一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
☎073(436)1331　FAX.073(436)1335
ホームページアドレス／http://www.wacaf.or.jp

2026年10・11・12月号　令和8年10月発行　Vol.121

Waca.p